

令和元年 第2回 肝付町議会一般質問

順位	質問者	答弁者	用件（要旨）
1	宮後 竜一	町 長	○防災について <ul style="list-style-type: none"> ・空き家による被害の影響について。 ・津波避難訓練について。 ・大隅肝属地区消防組合内之浦分署の移転計画について。
2	富永 洋一	町 長 町 長	○町公共施設について <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少の中での施設のあり方をどう考えているか。 ・維持管理費に多額の財源を要しているが用途変更等、検討が必要では。 ○高齢者の一人暮らし対策について <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし世帯が増え続け、社会問題となっている。町としての対策が必要と考えるが。 ・集落での過疎化が進み、高齢者の孤立も懸念されている。対策も必要。
3	進藤 鈴子	町 長 町 長	○集会所の建て直しあるいは、改装についての補助金について <ul style="list-style-type: none"> ・小集落の高齢者にとっては手出しが大きな出費となる。高齢化に伴い助成金の見直しは考えられないか。 ○県道 539 号線の並木通りについて再度問う。 <ul style="list-style-type: none"> ・前回の答弁と異なる現状の景観。
4	坂口 喜作	町 長 町 長	○地域づくりについて <ul style="list-style-type: none"> ・地域支援のあり方について。 ・人的支援、物的支援、財政的支援の今後のあり方について。 ○畜産防疫対策について <ul style="list-style-type: none"> ・農家への指導は十分か。
5	前田 美春	町 長 教 育 長 町 長	○学校給食について <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食を民間委託した後の実績は。(メリット・デメリットについて) ・内之浦地区は同時に民間委託はできなかったのか。 ・学校給食のアレルギー対策は万全か。 ・肝付町産の食材提供の実績は。(地産地消) ・給食費の徴収方法について。 ・給食費の滞納について。 ・過去の滞納の処理について。 ・給食費一部助成の考えは。 ○ふるさと納税制度について <ul style="list-style-type: none"> ・新しい制度（ルール）の対応について。 ・ふるさと納税寄付者への返礼時のPRについて。 ・ダンボール箱の一部助成について。 ・PR用DVDの作成等について。

6	中原 稔	町 長	<p>○町水道未給水地区の解消計画と集落水道の改善策について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 未給水地区解消に関する計画はされているか。 <ul style="list-style-type: none"> ・町水道は概ね普及されているが、未だに未給水地区がある。安全で衛生的な水の供給は行政の責務と思うが、解消計画はあるか。 2. 集落水道の改善策について <ul style="list-style-type: none"> ・住民の健康に直結する水道水の確保は必須であるが、集落水道の水質管理、施設の維持管理は集落依存である。集落水道にも衛生的な水の供給は必要不可欠であり、行政の関与が必要と思うが、半官半民的な運営はできないか。
7	有留 智哉	町 長	<p>○子供・子育て支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きもつき子育てネット「トコトコ」の現在の運用状況は。今後の運用は。 ・子供議会を開催できないか。 ・子供達がより過ごしやすく、夢を持てる町づくりができるように。
8	吉原 光	町 長 町 長	<p>○一般廃棄物処理基本計画について ごみ処理基本計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、高山地区と内之浦地区のごみの分別、収集の仕方は違うのか。 ・ごみを減らすためにどういう対策を進めるのか。 <p>○側溝の悪臭、汚れの対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内之浦地区の市街地通水の現状と課題。
9	益山 二郎	町 長 町 長	<p>○カンゾウ栽培の今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初予算において、苗代補助は今後行わないと答弁されたが、今までの経緯を質すとともに町が取り組むカンゾウ事業について問う。 <p>○本町予算の今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併から10数年経過し、当時の旧高山町とほぼ同等の人口になったいま、これからの10年後を見据え、町当局はどの程度予算の変遷を予測しておられるのか、また、そのためには行財政改革が必要と考えるが、現在考えている施策はどのようなものなのか。